スポーツのまち　しもすわ

第２期

下諏訪町スポーツ推進計画

「生涯一町民一スポーツ」で生涯スポーツ社会の実現



平成３０年（2018 年）４月

下 諏 訪 町

「生涯一町民一スポーツ」
スポーツのまち　しもすわ



健康寿命を延ばし、いきいきと心豊かに暮らし続けることはみんなの願いです。下諏訪町は、スポーツ文化が根付いたまちで、早朝ラジオ体操にはじまり、日夜、運動・スポーツに親しむ町民の姿が多く見られます。

また、諏訪湖や八島湿原など豊かな自然環境を活かし、心身のリフレッシュとともに、子どもから高齢者まで多くのみなさまが運動・スポーツに親しんでおり、生涯スポーツ社会を実現するためには、健康長寿への関心の高まりとともに、地域のつながりが大変重要となってまいります。

第２期計画では、引き続き「生涯一町民一スポーツ」を基本理念に掲げ、スポーツを「みる」ことをきっかけとして、「する」ことに結びつけ、町民総スポーツ参画の推進を目標としており、町民一人ひとりが、生涯にわたって健康づくりを心がけ、スポーツに親しみながら、地域のふれあいを通じて、明るく活気のあるまちづくりを推進するため、「健康スポーツ都市」の宣言をいたします。また、２０２０年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会を好機として、スポーツに対する関心を高め、スポーツを通じた交流の促進を図ります。

本計画を策定するにあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました町民のみなさまをはじめ、答申をいただきました審議会の委員のみなさまに心から感謝を申し上げるとともに、この計画をもとにスポーツの推進を図り、誰もが健康で生きがいをもった生活が送れるよう全力で取り組んでまいります。

町民のみなさまの積極的な参画と格別のご理解とご協力をお願いします。

平成３０年４月

下諏訪町長　**青 木　悟**

目　次

第１章　計画の概要 ---------- 1

１　計画策定の背景
２　計画策定の趣旨
３　計画の位置づけ
４　計画期間

第２章　基本方針 ---------- 2

１　基本理念 ---------- 2
２　基本目標 ---------- 3

第３章　計画の目標と施策 ---------- 4

基本目標１　スポーツを「みる」　感動から始まるスポーツへの関心 -------- 4
基本目標２　スポーツを「する」　生涯を通じたスポーツの実践 ---------- 7
基本目標３　スポーツを「ささえる」　施設の充実と人材の育成 ---------- １２
基本目標４　スポーツを「ひろめる」　町民総スポーツ参画の推進 ---------- １６

第４章　町民と一体となった計画の推進 ---------- 18

１　施策の推進体制と役割
２　計画の検証と評価

資料編 ---------- 19

１　スポーツ推進アンケート集計結果（平成２４年・２７年・２９年の比較）------- ２０
２　下諏訪町スポーツ推進審議会委員名簿 ---------- ２５
３　第２期下諏訪町スポーツ推進計画策定経過 ---------- ２５

第１章　計画の概要

１　計画策定の背景

平成２７年１０月に発足したスポーツ庁は、スポーツを通じ「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活」を営むことができるスポーツ立国の実現を使命とし、スポーツ基本法に基づき、スポーツ基本計画を定めています。

国では、２０１７年４月から２０２２年３月まで５年間の第２期計画のなかで、「スポーツ参画人口」を拡大し、他分野との連携・協力により「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことを基本方針として提示しています。

市町村は、国の計画を参酌して、地域の特性に応じたスポーツ推進計画を策定し、健康増進、地域の活性化などスポーツを通じた活力ある社会づくりに取り組むことが期待されています。

２　計画策定の趣旨

町では、平成２５年度（2013 年度）から平成２９年度（2017 年度）まで５年間のスポーツ推進計画を策定し、「生涯一町民一スポーツ」を基本理念として、「学校と地域における子どもの運動・スポーツ機会の充実」、「町民の運動・スポーツ参加機会の充実や環境の整備」、「運動・スポーツ施策による豊かな高齢社会の実現」、「多方面にわたるスポーツの果たす役割の活用」の４つの基本目標を立て生涯スポーツ社会の実現に努めてきました。

ここで、平成２５年度（2013 年度）から５年間のスポーツ推進計画の計画期間が満了となること、また国のスポーツ基本計画の改定を受け、これまでの取り組みをより一層推進するとともに、町民の体力向上、健康増進のため、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに取り組める環境づくりと、地域の活性化を推進するため、新たな５年間のスポーツ推進計画を策定するものです。

３　計画の位置づけ

第７次下諏訪町総合計画　第４章　第１節「絆で支え合う健康長寿のまちづくり」の体育・スポーツに関する部門計画として位置づけます。

４　計画期間

本計画の期間は、平成３０年度（2018 年度）から平成３４年度（2022 年度）までの５年間とします。

なお、新たに計画に盛り込む事項が生じた場合には、必要に応じて計画を見直します。

第２章　基本方針

１　基本理念

生涯一町民一スポーツ

ルールに則り他者と競い合う競技スポーツのみならず、健康増進を目的としたウォーキングやラジオ体操、家族や仲間とのレクリエーションなど、子どもから高齢者まで誰もが生涯にわたって運動・スポーツに親しみ、健康で生きがいに満ちた豊かな暮らしと活力あるまちづくりの実現を目指し、引き続き「生涯一町民一スポーツ」を基本理念として定めます。



チャンスボール大会

下諏訪町スポーツ推進委員会が「いつでも、どこでも、誰でも」をモットーに考案したニュースポーツ。
毎年、下諏訪体育館で大会を開催しています。

2　基本目標

基本理念の実現のため、次の４つの基本目標に基づいた取り組みを推進します。

基本目標１　スポーツを「みる」感動から始まるスポーツへの関心

スポーツに無関心であった人が、スポーツを「みる」ことで感動し、刺激を受けることで関心を持ち、ひいてはスポーツを「する」ことへのきっかけとなるよう、イベント等の開催や大会の誘致に努め、２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を好機として、町全体のスポーツに対する関心を高めます。

基本目標２　スポーツを「する」生涯を通じたスポーツの実践

町民一人ひとりが、年齢や生活状況に応じて実施できるスポーツを見つけ、生涯にわたって運動・スポーツに親しむことができる環境づくりを推進します。また、生涯スポーツに結びつくきっかけとなる様々な機会の提供に努めます。

基本目標３　スポーツを「ささえる」施設の充実と人材の育成

町民がいつでも、どこでも、気軽にスポーツに取り組めるよう、施設の維持管理を行うとともに、利用者の要望に応じた設備の充実に努め、施設の利用促進を図ります。

また、スポーツを始めたい人やより楽しみたい人を、指導・サポートする人材の育成を図ります。

基本目標４　スポーツを「ひろめる」町民総スポーツ参画の推進

スポーツと観光資源を掛け合わせたスポーツツーリズムの推進、オリンピック・パラリンピックの事前合宿や学生の合宿誘致等により、スポーツを通じた交流を促進し、地域の活性化を図ります。

基本目標１　スポーツを「みる」感動から始まるスポーツへの関心

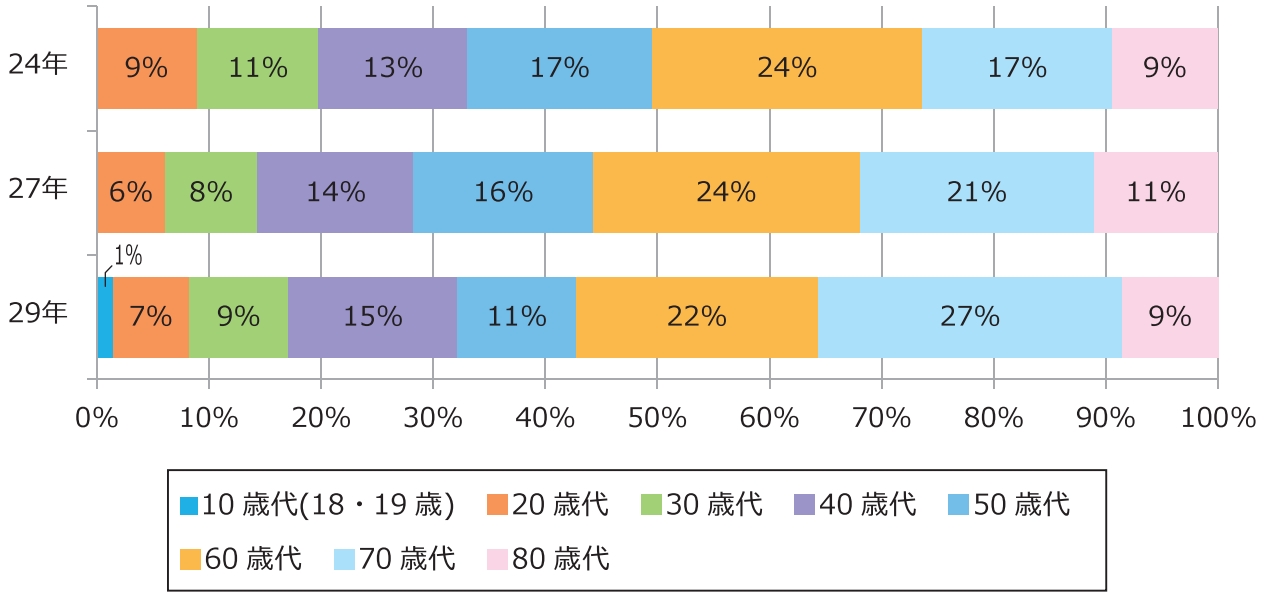
５年後の目標

スポーツへの関心を深め、自発的なスポーツの実践につなげる。
１年に１度も運動・スポーツを行わない人を１０％以下にすることを目指す。

現状と課題

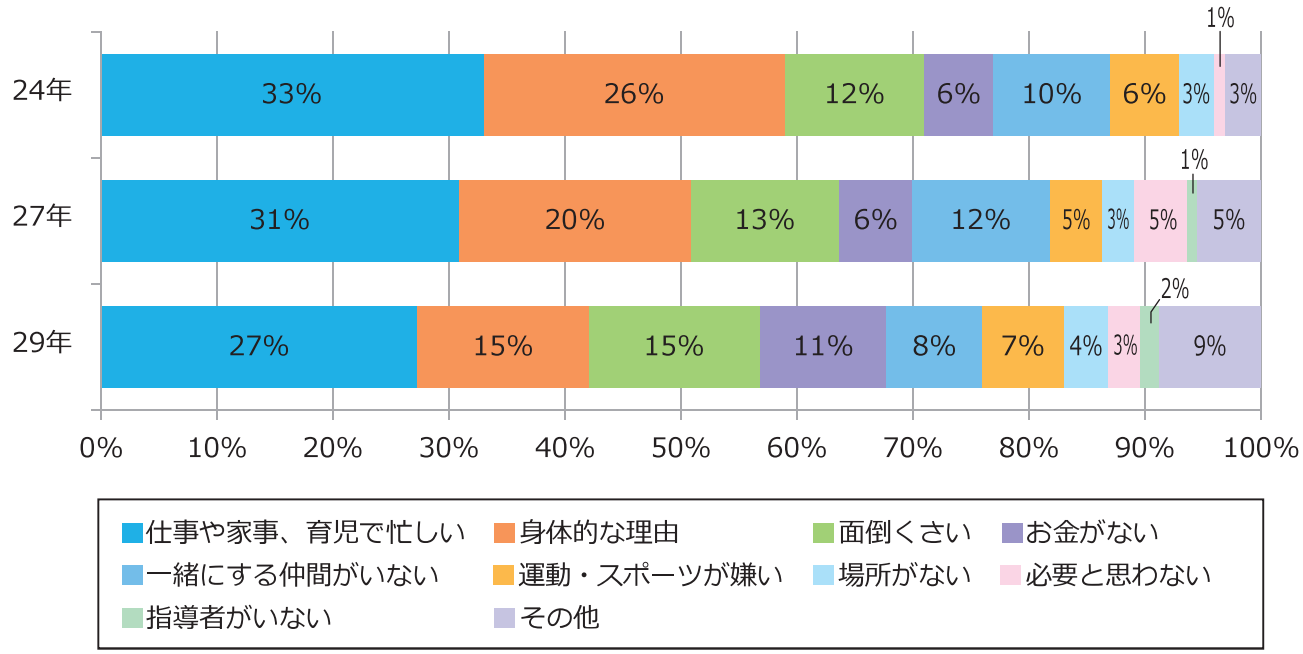
・スポーツを行う理由は、体力向上、健康増進、楽しみ、気晴らし、仲間との交流など様々な理由があります。
・スポーツの実施を妨げる要因は、仕事、家事、育児などで多忙、面倒くさい、年をとったなど、世代によって異なる要因があります。
・スポーツが好き、嫌いの二極化がみられます。スポーツを嫌いという人には、スポーツ＝競技スポーツという認識から抵抗感を持つ人がみられます。

アンケートに回答した世代



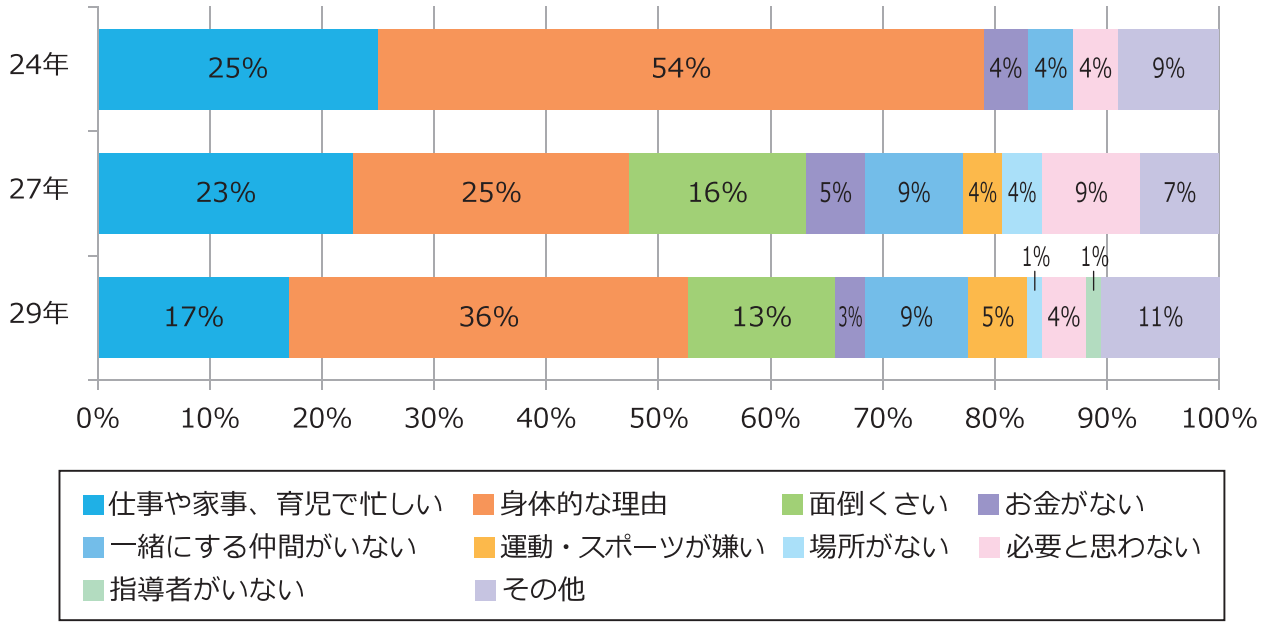
運動・スポーツをしない、できない理由　【全年齢】

・平成２４年度と比較し、「身体的な理由」でスポーツを行わないという回答が大幅に減少しましたが、運動・スポーツが面倒くさいという理由が微増しています。



運動・スポーツをしない、できない理由　【６０歳以上】

・身体的な理由により運動・スポーツをしない、できないと感じる人は、大幅に減少しました。日頃から健康づくりを意識し、積極的に体を動かす人が増えたと考えられます。



具体的施策

（１）これまでスポーツに関わってこなかった人への働きかけ

スポーツを「みる」ことは、スポーツに関わる第一歩です。極限を追求するアスリートの姿に心躍る気持ちは、運動・スポーツを「する」ことにつながると考えます。

より身近にスポーツを感じる機会として、イベント等の開催や大会を誘致し、地域密着型のスポーツを通じ、これまで運動・スポーツに関わってこなかった人に対するスポーツへの関心を高めていくよう努めます。

また、日常的に運動・スポーツの話題がでる地域づくりを進め、町の活性化を図ります。

・「みて」楽しめるスポーツイベント等の開催、誘致
・軽体操、ニュースポーツ等の出前講座の実施
・スポーツ体験コーナーの開設
・各種スポーツ大会の開催

（２）「体育」から「スポーツ」への意識改革

教育的な意味合いを持つ「体育」から、自発的に幅広い運動に親しむ「スポーツ」へ意識を変えていくことを目的として、「体育係」の名称を変更します。

（３）東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の誘致

２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催は、国や世代、文化を越えた交流を通じて夢や希望にあふれた社会を実現する絶好の機会です。町は、ボート競技の合宿候補地として名乗りを上げ、トップアスリートとの交流によるスポーツへの関心を高めるため、関係機関と連携して誘致活動に取り組み、事前合宿の誘致を目指します。

（４）国民体育大会　競技会の誘致

２０２７年に長野県での国体開催が内々定され、１９７８年のやまびこ国体以来４９年ぶりとなる大会を好機として、町民のスポーツに対する意識や関心を高め、競技会の誘致に向けた取り組みを進めます。

（５）女性のスポーツ参画の推進

女性のニーズや意欲に合ったスポーツ、親子で参加できるスポーツ教室等の機会を提供し、女性のスポーツ参画を推進します。また、更衣室、授乳スペース等、女性が施設を利用しやすい環境の整備に努めます。

・町民スポーツ祭の開催
・親と子のボート教室の開催

基本目標２　スポーツを「する」生涯を通じたスポーツの実践

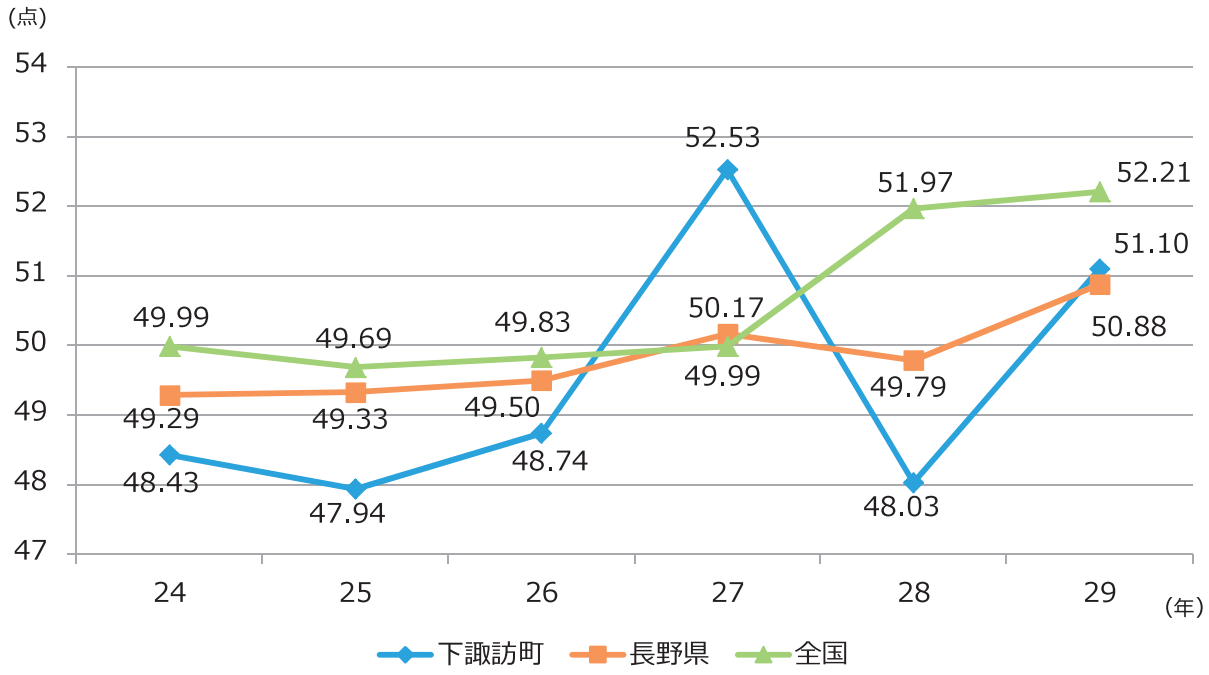
５年後の目標

年齢、生活状況に応じたスポーツの推進による生涯スポーツ社会の実現。
体力合計点５４点台を目指す。
週１回以上運動・スポーツを行う人を６５％以上となることを目指す。

現状と課題

・子どもの体力は緩やかな向上傾向にあります。町が、平成２９年度に実施した体力測定における体力合計点※1は 51.10 点で、長野県の 50.88 点を上回り、全国の 52.21 点を下回っています。
・少子化の影響により団体種目を中心としてチーム編成が難しくなっています。

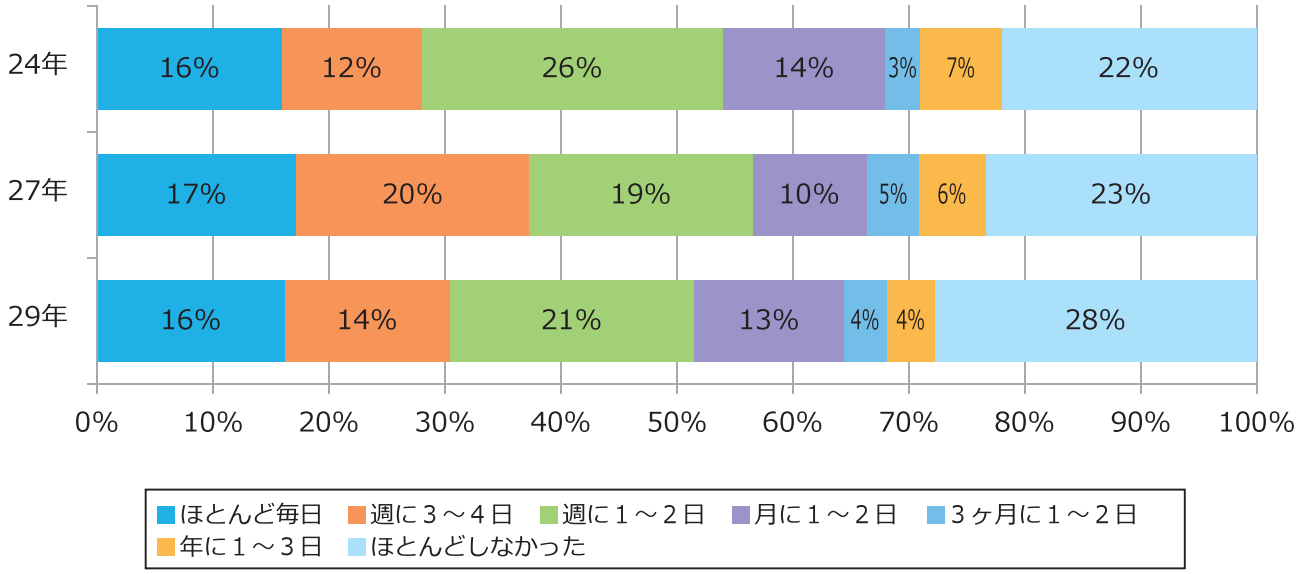
体力合計点の推移



※１　体力合計点：握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、持久走、50m 走、立ち幅跳び、ハンドボール投げの８種目の体力測定を行い、小学５年生、中学２年生の男女別の得点を平均したもの。

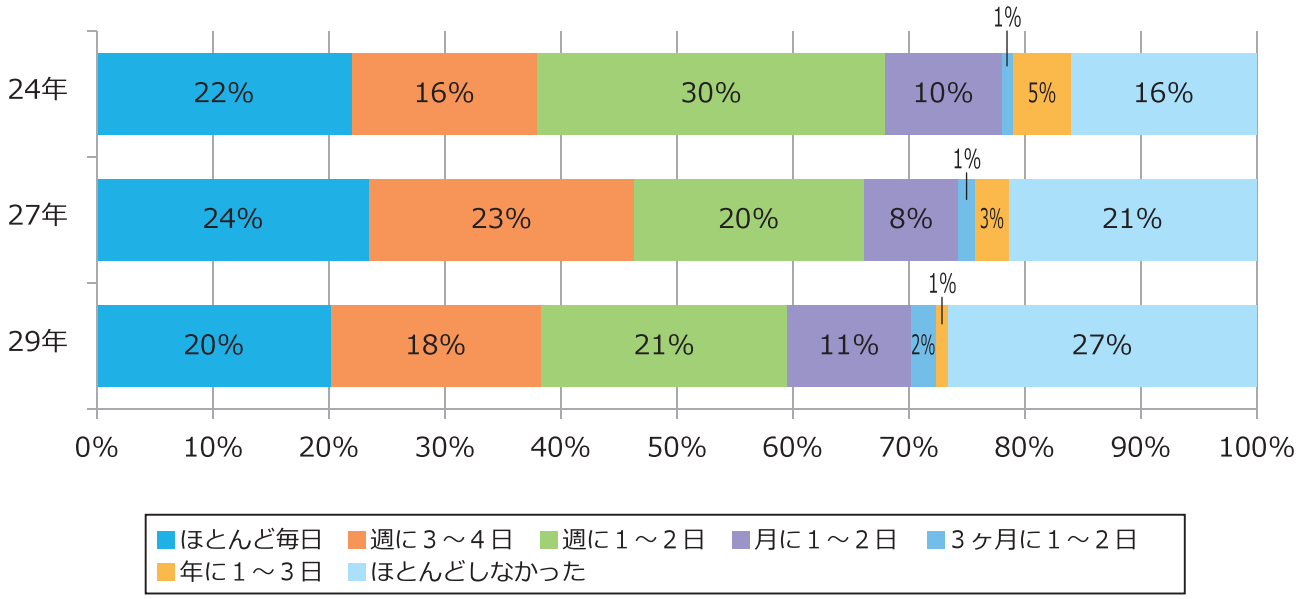
運動・スポーツ実施率　【全年齢】

・全年齢で週１回以上運動・スポーツを行う人は、平成２４年度 54%、平成２７年度 56%、平成２９年度 51%となっています。



運動・スポーツ実施率　【６０歳以上】

・「ほとんど毎日」、「週に３～４日」、「週に１～２日」の頻度で運動・スポーツを行っている人は、約 70%から約 60%で減少傾向にありますが、全年代の実施率約 50%と比較すると、高い実施率であることが伺えます。



具体的施策

（１）子どもの運動の習慣化と体力向上

幼児期から様々な遊びの中で、体を動かす習慣を身につけることが、生涯にわたって運動・スポーツに親しむ基礎となります。家庭の中から運動の習慣化と、食事、運動、睡眠など規則正しい生活習慣を身につけるよう啓発を図ります。また、長野県版運動プログラム※2等を普及・活用し体力の向上に努めます。

（２）学校体育の充実

生涯にわたって、スポーツに親しむ意識づけができるような体育学習に努めます。また、少子化に伴い、団体種目の部活動に支障をきたすような状況が発生していることから、体育協会、地域クラブとの連携によるスポーツ実施環境の整備や、外部講師の活用による競技力の向上に努めるなど、よりよい活動の方策を検討します。

（３）環境を活かしたスポーツの推進

町は、県内唯一の常設漕艇場を有し、生涯スポーツとして、ボートに親しむことができる恵まれた環境にあります。ボート競技の普及拡大を目的とした下諏訪レガッタは、ボートを通じて、職場、地域の仲間との交流を深め、地域の活性化にもつながっています。また、日本フィギュアスケート発祥地である秋宮リンクは、小学生の体育授業や氷上祭を通じて、スケートの楽しさを今に伝えており、いずみ湖では、カヌーを通じて自然に親しむことができます。これら、町ならではの環境を活かしたスポーツを推進し、地域の活性化を図ります。

・下諏訪レガッタの開催
・氷上祭の開催
・いずみ湖公園の活用

（４）健康増進・体力向上・レクリエーションのためのスポーツ推進

スポーツ＝競技スポーツという認識を改め、スポーツや運動の魅力を再認識するきっかけづくりの場として、競技スポーツが未経験でも手軽に行うことができるニュースポーツや各種教室を開催し、自主的かつ習慣的にスポーツや運動に取り組む意識づけを町全体で高めるよう努めます。

また、健康づくり県民運動「信州 ACE プロジェクト」の ACE を表す生活習慣改善の重点項目 Action(体を動かす)、Check(健診を受ける)、Eat(健康に食べる)を常に心がけ健康長寿の町を目指します。

※２　長野県版運動プログラム：子どもの発達段階や精神面を考慮し、無理なく楽しく体を動かすことにより「動ける体」をつくるとともに、脳を活性化させ「心」の成長を促していくというもの。

・体力づくり教室の開催
・下諏訪ギネスにチャレンジの開催
・インターバル速歩講座の開催
・高浜健康温泉センターゆたん歩゜で開催される各種健康講座への参加促進

（５）ラジオ体操のさらなる普及と推進

平成２９年８月２日、夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会が下諏訪町で開催されました。体操会には1,451人が参加し、その模様は全国に生放送され、「ラジオ体操のまち」を広く発信しました。

これを励みとして、引き続き「ラジオ体操のまち」を掲げ、さらなる推進と運動習慣のきっかけとして、普及啓発を図ります。

・早朝ラジオ体操の開催

（６）障がい者スポーツの推進

軽体操やレクリエーション、電動車椅子サッカー、パラローイング（障がい者のボート競技種目）をはじめとした競技スポーツなど、障がいの種類や程度に応じて実施できるスポーツの推進を図るため、障がい者福祉団体、障がい者スポーツ団体等の施設利用に対し支援を行います。

（７）チャンスボール※3の普及

チャンスボールは、いつでも、どこでも、誰でも気軽にできることを方針として下諏訪町スポーツ推進委員会が考案したニュースポーツです。終盤に大逆転のチャンスがひそんでいるなどゲーム性も高く、毎年大会を開催し普及を図っています。

下諏訪町発祥のニュースポーツ、チャンスボールを町民スポーツとして、さらなる普及に努めます。

・チャンスボール大会の開催
・地域イベントでの紹介による認知度の向上・競技の普及
・保育園、小中学校への体験実施のよびかけ

（８）まち歩きによる健康増進

諏訪湖から八島湿原まで変化に富む自然豊かな下諏訪町は、ウォーキングやサイクリングに最適な環境に恵まれています。また、湖畔の健康スポーツゾーンに設置している屋外健康器具は、健康増進のため多くの方に利用されています。

町のキャッチコピー「中山道と甲州街道が出会う　大社といで湯の宿場町」にあらわされているように、いにしえより歩く文化が根付いている町です。まち歩きをきっかけに、インターバル速歩やノルディックウォーキング、サイクリングなど、より運動負荷の高いものに挑戦できる機会と環境を整備します。

※３　チャンスボール：マレットゴルフ、ゲートボール及びカーリングの要素を兼ね備えた下諏訪町発祥のニュースポーツ。

・ウォーキング講座の開催
・９９分のまちあるきマップを活用した散策の促進
・レンタサイクルの利用促進、自転車によるまち巡りの促進



スポーツチャンバラ



スポーツ吹矢

体力づくり教室

年代を問わず行なえるスポーツ教室を開催しています。



電動車椅子サッカーチームの練習

障がい者スポーツ団体等の施設利用に対し支援を行っています。

基本目標３　スポーツを「ささえる」施設の充実と人材の育成

５年後の目標

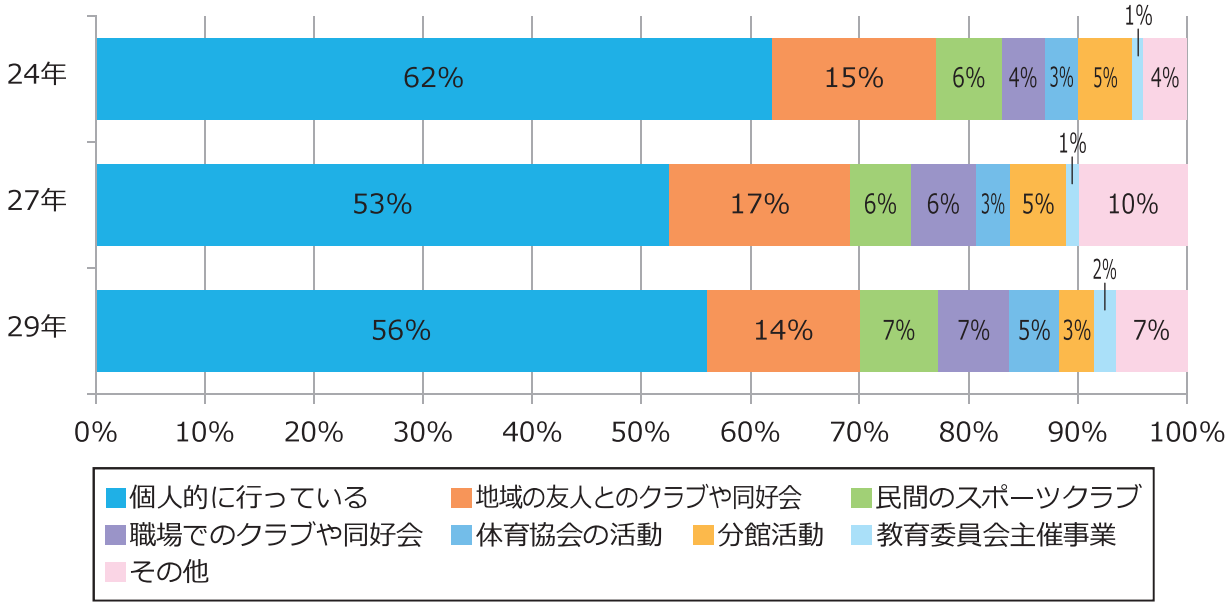
誰もが気軽に安全に利用しやすい施設の運営
スポーツを支える人材の育成と確保

現状と課題

・施設の利用率は、高い状態で推移しており、活発に利用されています。反面、個人利用や小規模のサークル等が、いつでも気軽に利用できる状態にありません。
・老朽化が進んでいる施設や設備もあり、修繕が行き届かない状況にあります。
・スポーツ推進委員やＮＰＯ下諏訪町体育協会が中心となって、スポーツをしたい人の指導やサポートを行っていますが、人材の減少や固定化がみられます。

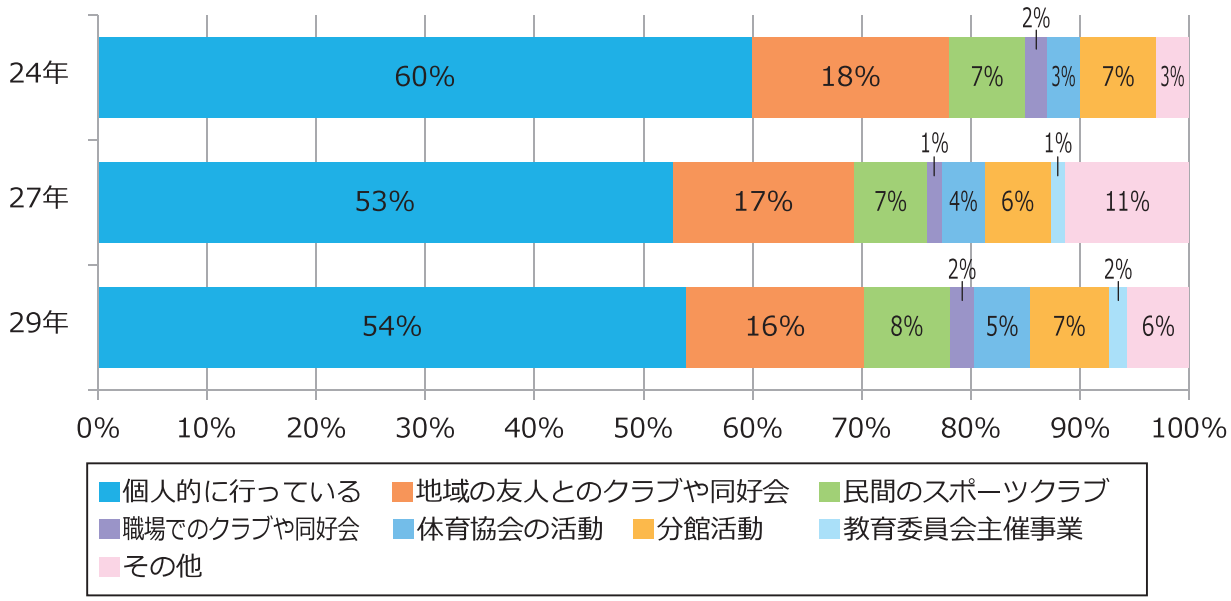
どのような環境で運動・スポーツを行っているか　【全年齢】

・個人的に行っていると答えた人が半数以上を占め、次いで地域の友人とのクラブや同好会で行っていると答えた方が続いています。自発的な取り組みとともに、身近な仲間と運動・スポーツに親しんでいることが伺えます。
・平成２４年度と比較すると、個人的にスポーツを行う人が減少し、町の体育協会や民間のスポーツクラブに所属し、運動・スポーツを行う人の割合が増えました。



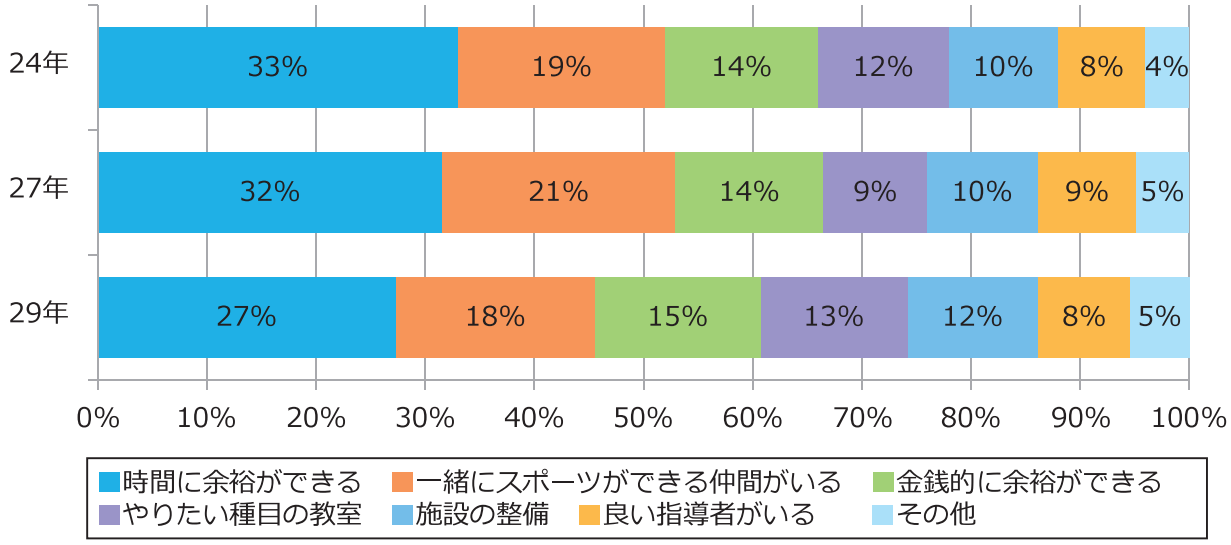
どのような環境で運動・スポーツを行っているか　【６０歳以上】

・個人的に運動・スポーツを行っている人が減少し、町の体育協会や民間のスポーツクラブに所属して行う人が増加しました。



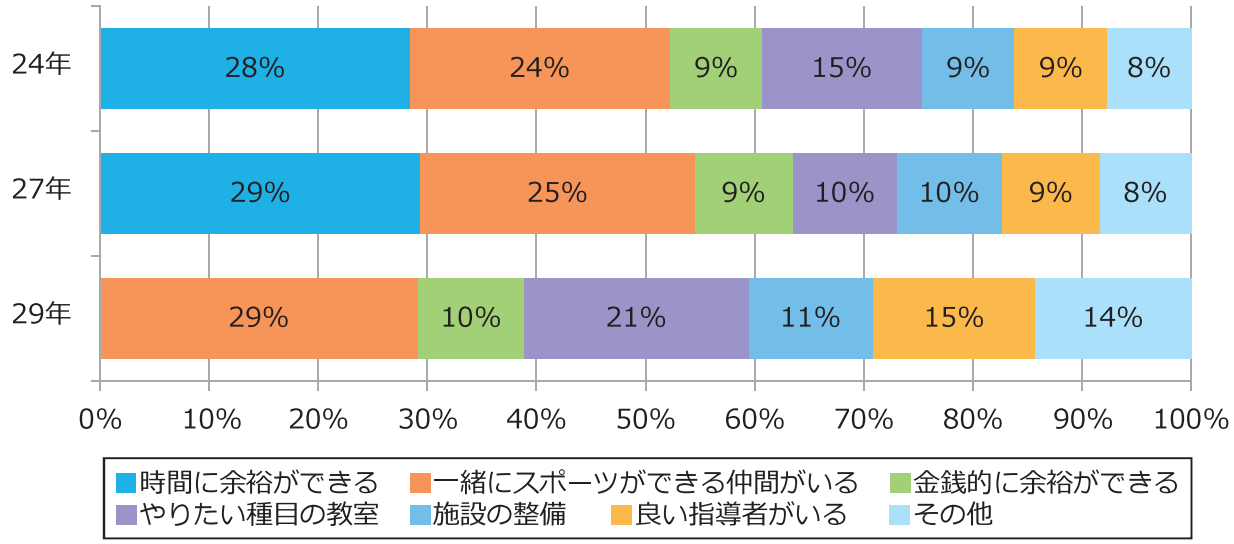
今後、どのような条件が整えば運動・スポーツをする機会が増えますか　【全年齢】

・平成２４年度と比較すると、時間に余裕ができたら運動・スポーツを行いたいという人が減少し、施設の整備ややりたい種目の教室の開催などがあれば行いたいという人が増加しました。



今後、どのような条件が整えば運動・スポーツをする機会が増えますか　【６０歳以上】

・「時間に余裕ができること」を条件にする人が減少し、「やりたい種目の教室」が増えることや「一緒にスポーツができる仲間がいる」ことを条件にする人が増加しました。運動・スポーツを複数人で実施したい人が増えたと考えられます。



具体的施策

（１）施設の維持

安全に利用できることを最優先として、利用者が快適に利用できるよう計画的な維持修繕に努めます。また、利用者目線に立ち、常に清潔な管理を心がけ、こまめな補修、補てんを行います。

（２）施設の充実

高木から赤砂崎にかけての諏訪湖畔を経て、総合運動場を健康スポーツゾーンと位置づけ、町のスポーツ推進拠点の完成を目指します。また、利用者の要望にそった設備の充実に努め、あわせて、高齢者、障がい者にも安心して使用できるよう、施設のバリアフリー化に努めます。

・総合運動場管理棟の改築及び総合運動場内のトイレの集約
・艇庫の移設
・錬成の家・艇庫を改修し健康増進施設を整備

（３）施設の利用促進

土日祝日、夜間の利用率は非常に高く、予約が取りづらい状況にあります。反面、平日の昼間の利用率は低い傾向にあります。

未就園児をもつ親子や高齢者が気軽にレクリエーションなどにも利用してもらえるよう利用案内の周知を図り、施設の利用促進を図ります。

・体育施設無料開放の実施

（４）スポーツ実施における安全確保

万が一のためスポーツ安全保険の加入促進に努めるとともに、各種団体等に応急手当講習の受講を促し、緊急時に適切な対応ができる知識と技術を身につけるよう指導します。また、スポーツ指導者には、トレーニング理論等知識を習得し、未然のけがの防止を図るよう啓発に努めます。

・スポーツ安全保険の加入促進
・スポーツ団体等への応急手当講習の普及啓発

（５）外部指導者、部活動指導員※4の配置

より質が高く魅力的な部活動を運営するため、外部指導者を積極的に活用し、計画期間内に部活動指導員の配置を目指します。

（６）スポーツ指導者、サポーターの育成、確保

スポーツ推進委員やＮＰＯ下諏訪町体育協会と連携し、スポーツを行いたい人をサポートします。あわせて、２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会や２０２７年の国体開催を好機として、スポーツボランティアなどの人材の確保に努めます。

・体育協会、スポーツ団体への支援





下諏訪ギネスにチャレンジ
町が独自に考案した６種目のギネス更新をねらう
イベントとして毎年開催しています。

※４　部活動指導員：学校の教育方針に基づき、生徒の自主的、自発的な参加により行われるスポーツ、文化、科学等に関する教育活動（学校の教育課程として行われるものを除く。）である部活動において、校長の監督を受け、技術的指導を行う者。

基本目標４　スポーツを「ひろめる」
町民総スポーツ参画の推進

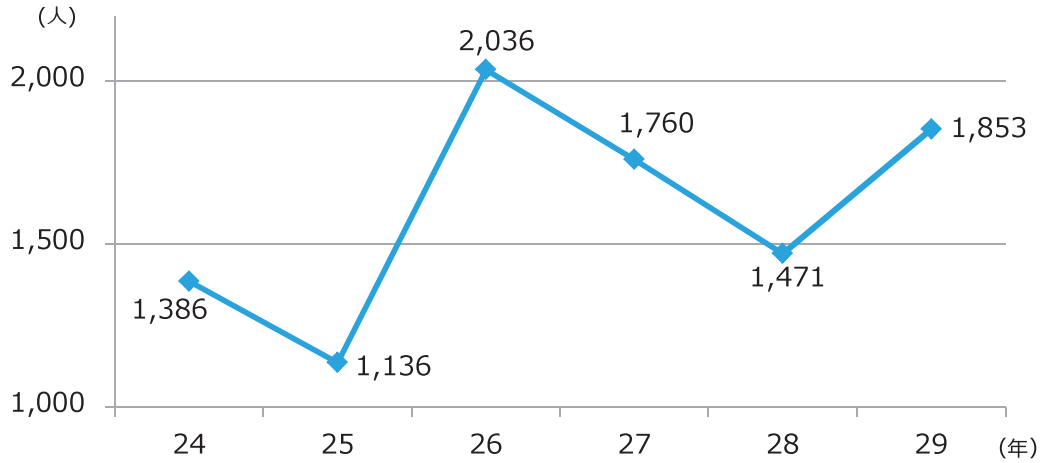
５年後の目標

スポーツを通じた交流を促進し、活力のある元気な町
心身ともに健康な町民を育てる

現状と課題

・最盛期には約１万人が合宿に訪れ「合宿のまち」と呼ばれていましたが、少子化に伴いスポーツ合宿利用者数が減少傾向にあります。
・街なみ散策やサイクリングと組み合わせた観光が、増加傾向にあります。

合宿利用者数の推移（町内宿泊者数）



具体的施策

（１）町民総スポーツ参画を目指す「健康スポーツ都市」の宣言

町民一人ひとりが、生涯にわたって健康づくりを心がけ、スポーツに親しむとともに、地域のふれあいを通じて、明るく活気のあるまちづくりを推進するため、「健康スポーツ都市」を宣言します。

（２）運動・スポーツを通じた地域コミュニティーの活性化

地区行事のレクリエーションやスポーツ大会を通じ、子どもから高齢者まで幅広い世代間の交流を図り、地域コミュニティーの活性化を図ります。

（３）スポーツを通じた国際交流の推進

２０２０年東京オリンピック・パラリンピック競技大会やホストタウン事業の推進を好機として、スポーツを通じた国際交流の推進を図ります。

（４）スポーツツーリズムの推進

諏訪湖や八島湿原など自然豊かな環境を活かし、観光と野外活動やスポーツを組み合わせた、スポーツツーリズムの推進を図ります。

また、まちあるき、レンタサイクルによる史跡の回遊、温泉施設の湯めぐりなど、周辺市町村とも連携し、観光に健康増進を加味した楽しむ体力づくりを推進します。

（５）スポーツ合宿の誘致

少子化に伴う学生数の減少、町内の宿泊施設や体育施設の受入れ規模などの課題がありますが、合宿者を温かく迎えるおもてなしの気持ちをもち、旅館組合、観光部局と連携し合宿の誘致を推進します。

（６）健康スポーツゾーンの周知と利用者の拡大

健康長寿のまち、スポーツの町を目指し、健康スポーツゾーンが、コミュニティーの場、健康づくりの場としてにぎわい、活発に各施設の利用拡大が図られるよう啓発に取り組みます。

・みずべフィットネスの開催



下諏訪町ジュニア陸上競技大会

町と体育協会の主催により、町内の小中学生を対象に陸上競技大会を実施しています。

第４章　町民と一体となった計画の推進

１　施策の推進体制と役割

町民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しむ生涯スポーツ社会を実現するため、行政、スポーツ推進委員、体育協会、スポーツ団体、町民が一体となって本計画の総合的な推進を図ります。

（１）町民の理解と協力

町民は、それぞれの関心や適性に応じて日常的にスポーツに親しみ、主体的に運動習慣を身につけることが期待されます。

（２）町・町教育委員会

保育園、学校、スポーツ推進委員、体育協会、スポーツ団体、関係機関と連携を図り、よりよいスポーツ環境づくりに努めるとともに、スポーツを通じた交流を促進し、本計画の施策を推進します。

（３）保育園・小学校・中学校

子どもの運動嫌いをなくし、生涯にわたってスポーツに親しむことができる基礎づくりのため、運動遊び、体育学習の充実、生活習慣の指導に努め、運動・スポーツの習慣化と体力向上に向け取り組みます。

（４）スポーツ推進委員

出前講座や体力づくり教室、各種イベントでの体験コーナー等の開催を通じて、スポーツに取り組むきっかけづくりや楽しさを啓発し、町のスポーツ推進を図ります。

（５）ＮＰＯ下諏訪町体育協会

各種スポーツ大会や教室を開催し、競技力の向上を図るとともに、競技スポーツから生涯スポーツまで幅広いスポーツ人口の拡大を図ります。また、町民が生涯にわたってスポーツに親しむ環境づくりを進めます。

（６）地域団体

分館、青少年育成会、ＰＴＡ等の地域活動を通じ、子どもから高齢者まで幅広い年代が、身近な地域でスポーツに親しむ機会を提供し、地域の活性化を図ります。

２　計画の検証と評価

本計画の推進のため、下諏訪町スポーツ推進審議会において施策の検証や評価を行い、必要に応じ施策の改善を図ります。

資料編

１　スポーツ推進アンケート集計結果（平成２４年・２７年・２９年の比較）

２　下諏訪町スポーツ推進審議会委員名簿

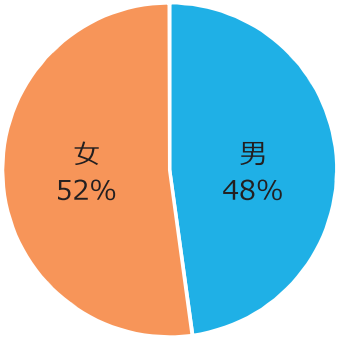
３　第２期下諏訪町スポーツ推進計画策定経過

1　スポーツ推進アンケート集計結果（平成 24 年・27 年・29 年の比較）

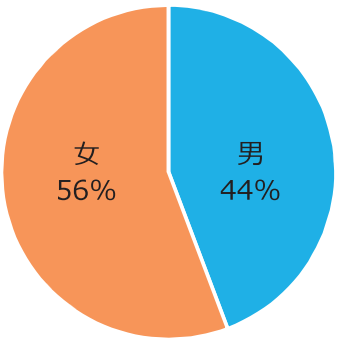
■平成 24 年　20 歳以上の町民 500 人を対象　　回答者 218 人　回収率 43.6%
■平成 27 年　20 歳以上の町民 500 人を対象　　回答者 244 人　回収率 48.8%
■平成 29 年　18 歳以上の町民 1,000 人を対象　回答者 339 人　回収率 33.9%

問１　あなたの性別を教えてください。

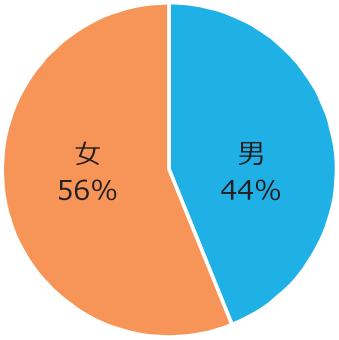
平成２４年



平成２７年

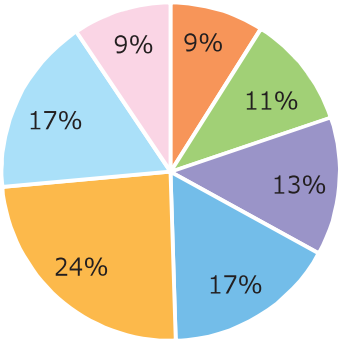


平成２９年

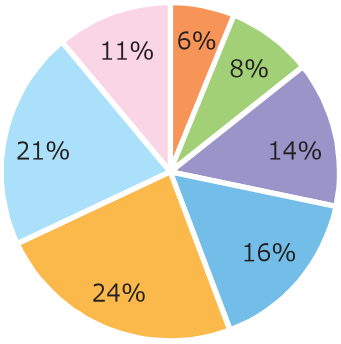


問２　あなたの年代を教えてください。

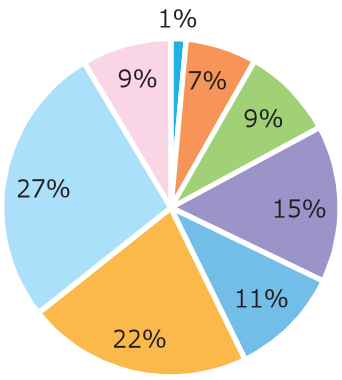
平成２４年



平成２７年



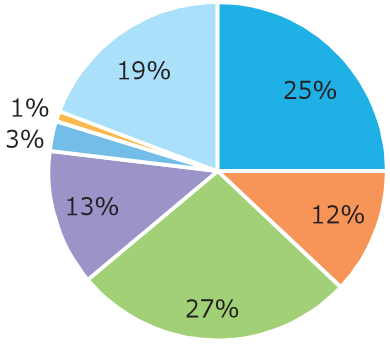
平成２９年



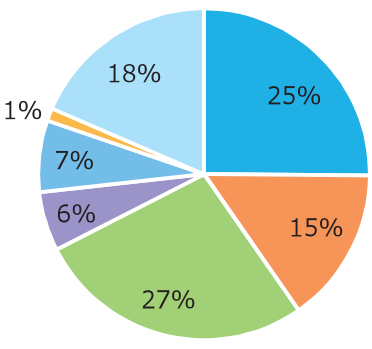


問３　あなたの職業を教えてください。

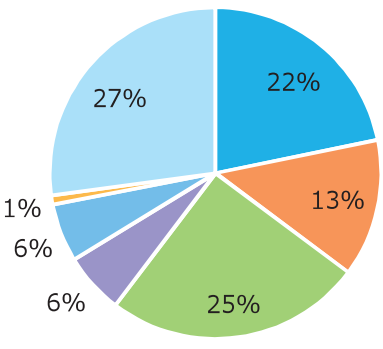
平成２４年



平成２７年

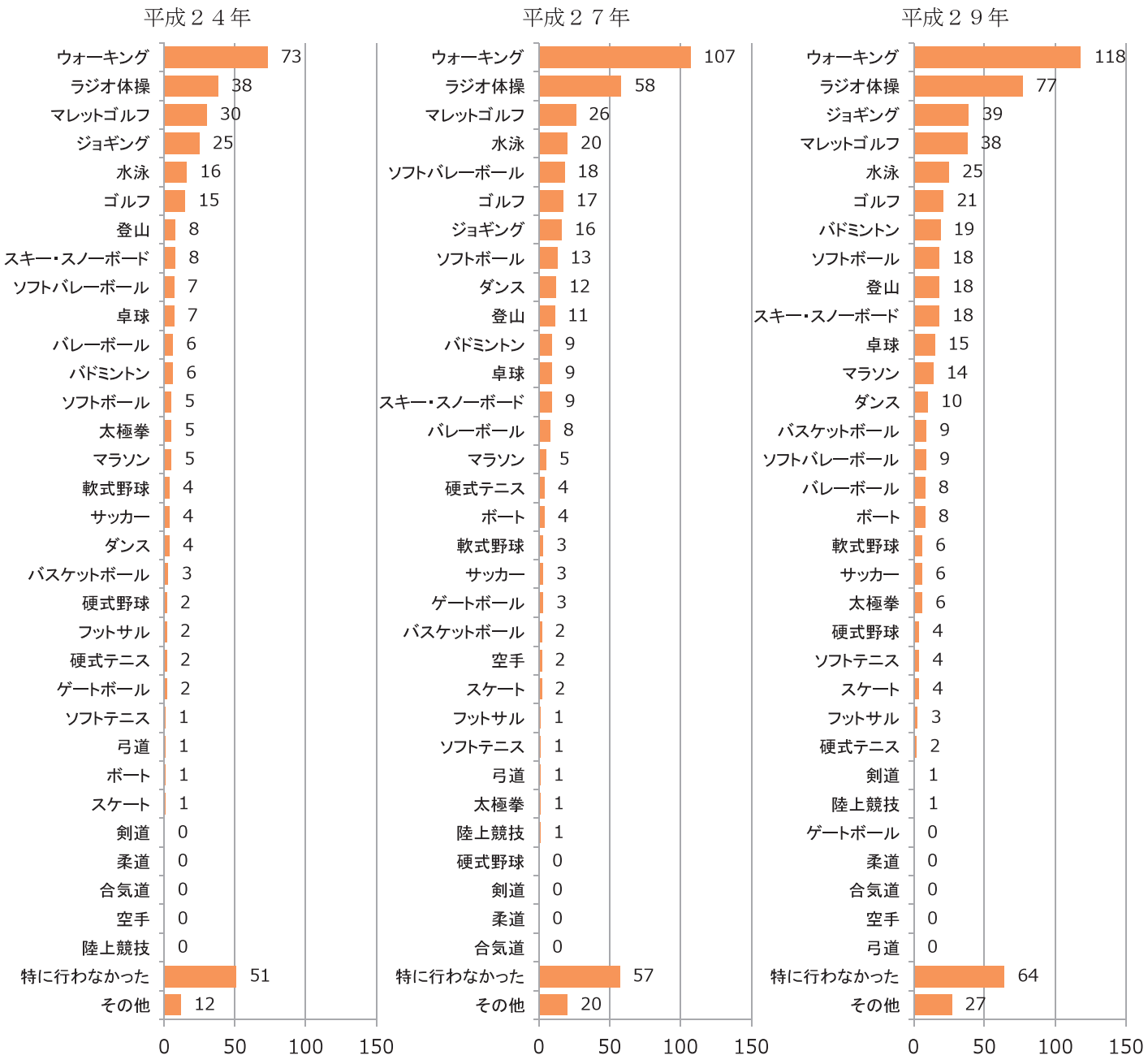


平成２９年

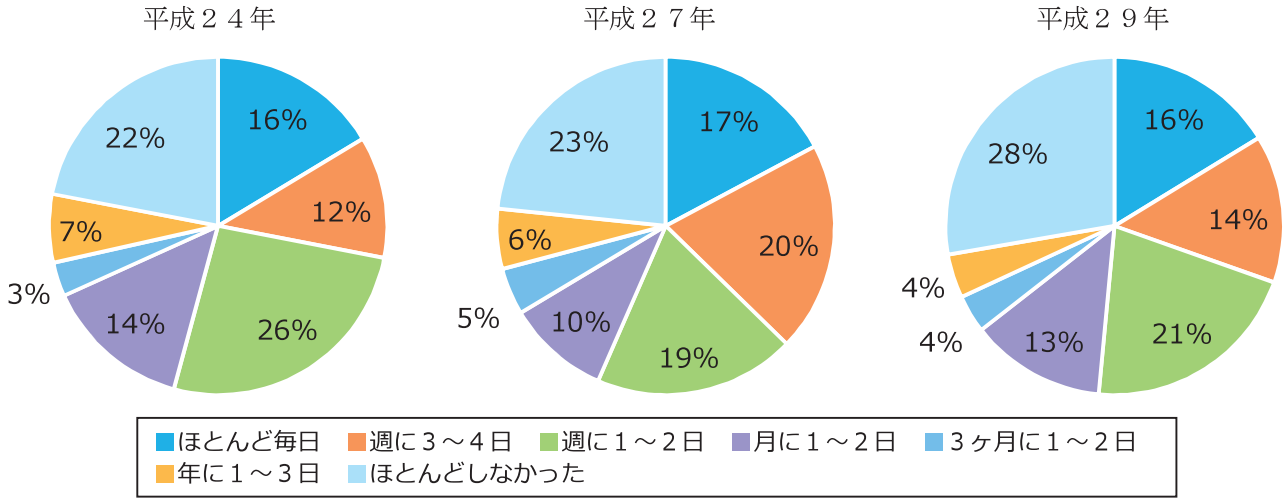




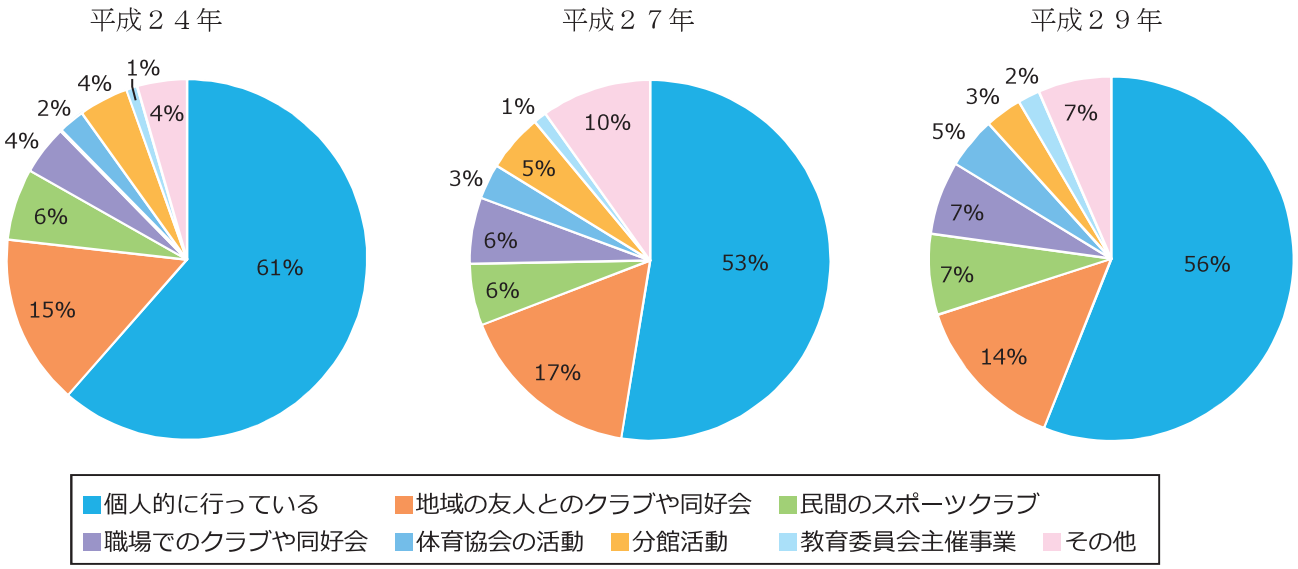
問４　あなたが前１年以内に主に行った運動・スポーツは何ですか。（複数回答）



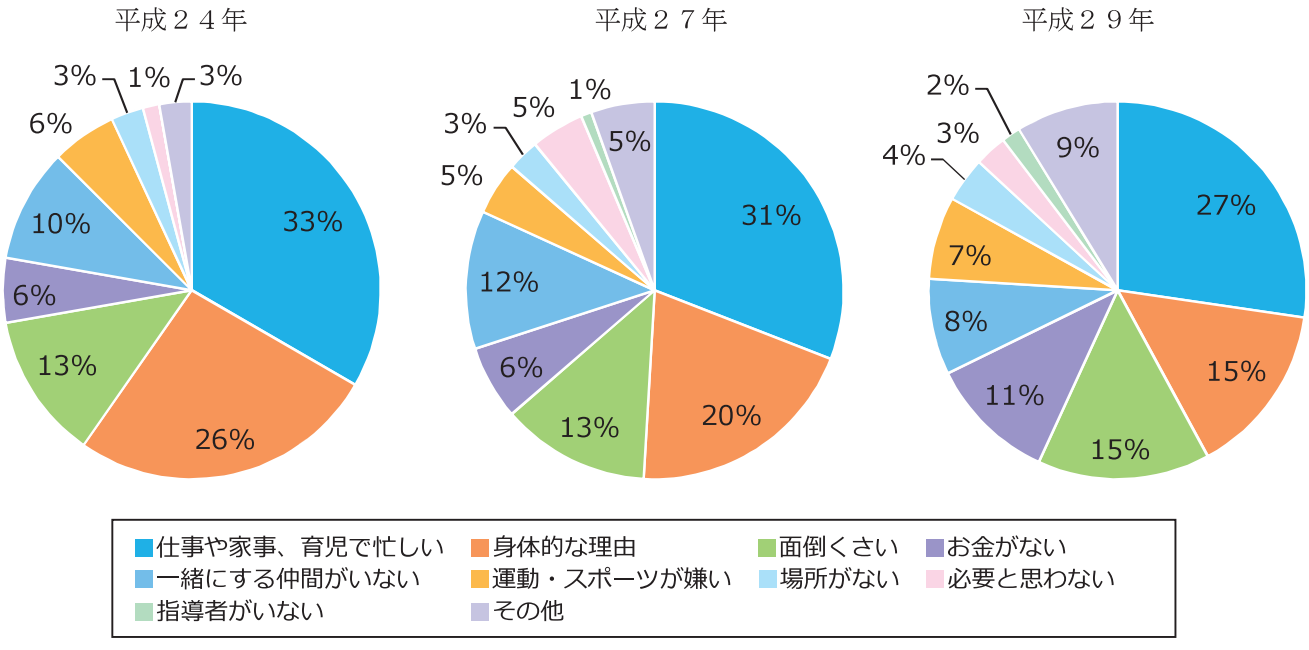
問５　あなたは前１年以内に運動やスポーツを何日くらい行いましたか。



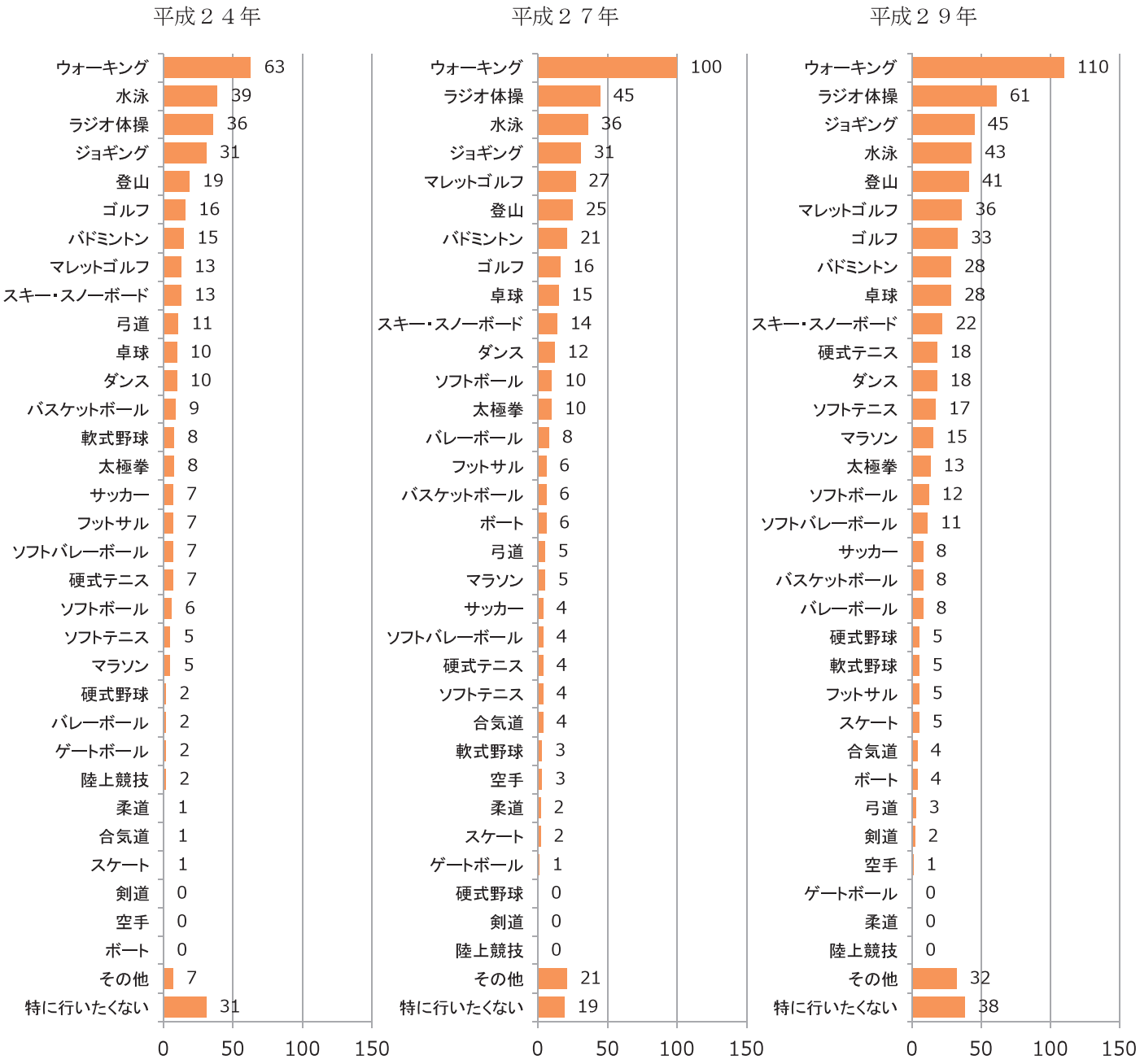
問６　問５で「１～６のいずれか」を選んだ方にお伺いします。
あなたはどのような環境で運動やスポーツを行っていますか。（複数回答）



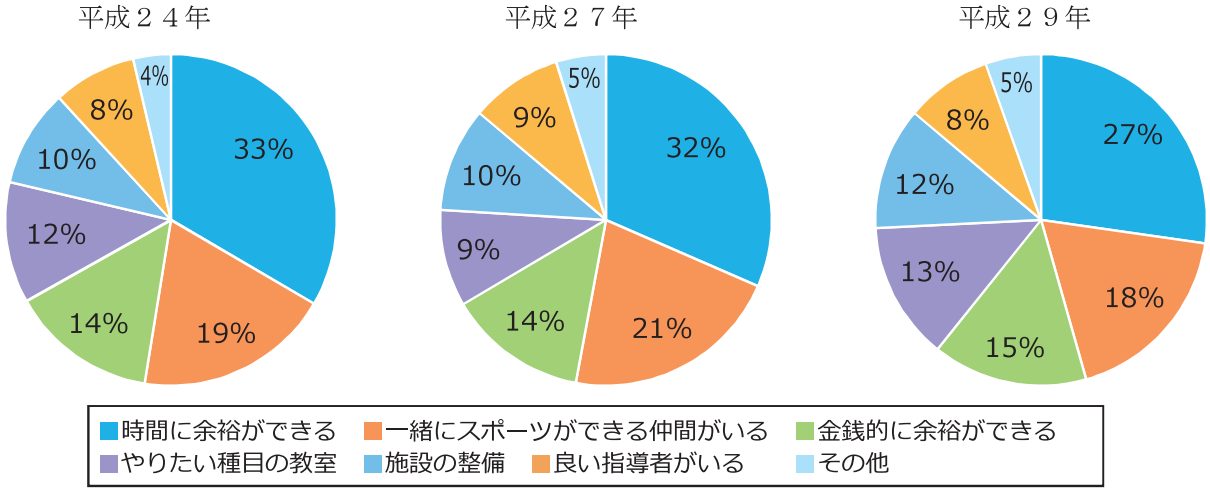
問７　問５で「７」を答えた方にお伺いします。
運動・スポーツをしない、できない理由は何ですか。（複数回答）



問８　あなたが今後やりたい運動・スポーツは何ですか。（○は複数可）



問９　今後、どのような条件が整えば運動・スポーツをする機会が増えますか。（複数回答）



スポーツ推進アンケート集計結果（平成24年・27年・29年の比較）

■平成24年　20歳以上の町民500人を対象　　回答者218人　回収率43.6%
■平成27年　20歳以上の町民500人を対象　　回答者244人　回収率48.8%
■平成29年　18歳以上の町民1,000人を対象 回答者339人　回収率33.9%

問1　あなたの性別を教えてください。

回答項目	平成24年	平成27年	平成29年
男	99	107	150
女	108	137	189
合計	207	244	339

問2　あなたの年代を教えてください。

回答項目	平成24年	平成27年	平成29年
10歳代			5
20歳代	19	15	23
30歳代	23	20	30
40歳代	28	34	51
50歳代	35	39	36
60歳代	51	58	73
70歳代	36	51	92
80歳代	20	27	29
合計	212	244	334

問3　あなたの職業を教えてください。

回答項目	平成24年	平成27年	平成29年
会社員	52	61	73
自営業	27	14	20
農業	1	3	3
公務員	6	17	19
パート・アルバイト	25	37	45
主婦専業・家事手伝い	56	66	84
その他	40	45	91
合計	207	243	335

問4　あなたが前1年以内に主に行った運動・スポーツは何ですか。
（複数回答）

回答項目	平成24年	平成27年	平成29年
硬式野球	2	0	4
軟式野球	4	3	6
ソフトボール	5	13	18
サッカー	4	3	6
フットサル	2	1	3
バスケットボール	3	2	9
バレーボール	6	8	8
ソフトバレーボール	7	18	9
硬式テニス	2	4	2
ソフトテニス	1	1	4
バドミントン	6	9	19
卓球	7	9	15
ゴルフ	15	17	21
マレットゴルフ	30	26	38
ゲートボール	2	3	0
剣道	0	0	1
柔道	0	0	0
合気道	0	0	0
空手	0	2	0
弓道	1	1	0
太極拳	5	1	6
陸上競技	0	1	1
マラソン	5	5	14
ダンス	4	12	10
水泳	16	20	25
ウォーキング	73	107	118
ジョギング	25	16	39
ボート	1	4	8
登山	8	11	18
スキー・スノーボード	8	9	18
スケート	1	2	4
ラジオ体操	38	58	77
特に行わなかった	51	57	64
その他	12	20	27
合計	344	443	592

問5　あなたは、前1年以内に運動やスポーツを何日くらい行いましたか。

回答項目	平成24年	平成27年	平成29年
ほとんど毎日	35	42	54
週に3～4日	25	49	47
週に1～2日	56	47	70
月に1～2日	30	24	43
3ヶ月に1～2日	7	11	12
年に1～3日	14	14	14
ほとんどしなかった	47	57	92
合計	214	244	332

問6　問5で「1～6のいずれか」を選んだ方にお伺いします。
あなたは、どのような環境で運動やスポーツを行っていますか。
（複数回答）

回答項目	平成24年	平成27年	平成29年
民間のスポーツクラブ	13	14	22
分館活動	9	13	10
教育委員会主催事業	1	3	6
体育協会の活動	5	8	14
職場でのクラブや同好会	9	15	20
地域の友人とのクラブや同好会	31	42	43
個人的に行っている	127	133	172
その他	9	25	20
合計	204	253	307

問7　問5で「7」を答えた方にお伺いします。
運動・スポーツをしない、できない理由は何ですか。（複数回答）

回答項目	平成24年	平成27年	平成29年
仕事や家事、育児で忙しい	24	34	50
お金がない	4	7	20
身体的な理由	19	22	27
場所がない	2	3	7
運動、スポーツが嫌い	4	5	13
必要と思わない	1	5	5
一緒にする仲間がいない	7	13	15
指導者がいない	0	1	3
面倒くさい	9	14	27
その他	2	6	16
合計	72	110	183

問8　あなたが今後やりたい運動・スポーツは何ですか？（○は複数可）

回答項目	平成24年	平成27年	平成29年
硬式野球	2	0	5
軟式野球	8	3	5
ソフトボール	6	10	12
サッカー	7	4	8
フットサル	7	6	5
バスケットボール	9	6	8
バレーボール	2	8	8
ソフトバレーボール	7	4	11
硬式テニス	7	4	18
ソフトテニス	5	4	17
バドミントン	15	21	28
卓球	10	15	28
ゴルフ	16	16	33
マレットゴルフ	13	27	36
ゲートボール	2	1	0
剣道	0	0	2
柔道	1	2	0
合気道	1	4	4
空手	0	3	1
弓道	11	5	3
太極拳	8	10	13
陸上競技	2	0	0
マラソン	5	5	15
ダンス	10	12	18
水泳	39	36	43
ウォーキング	63	100	110
ジョギング	31	31	45
ボート	0	6	4
登山	19	25	41
スキー・スノーボード	13	14	22
スケート	1	2	5
ラジオ体操	36	45	61
特に行いたくない	31	19	38
その他	7	21	32
合計	394	469	679

問9　今後、どのような条件が整えば運動・スポーツをする機会がふえますか。（複数回答）

回答項目	平成24年	平成27年	平成29年
時間に余裕ができる	119	130	146
金銭的に余裕ができる	51	56	81
施設の整備	34	42	64
やりたい種目の教室	42	39	72
一緒にスポーツができる仲間がいる	68	88	98
良い指導者がいる	29	37	45
その他	13	20	29
合計	356	412	535

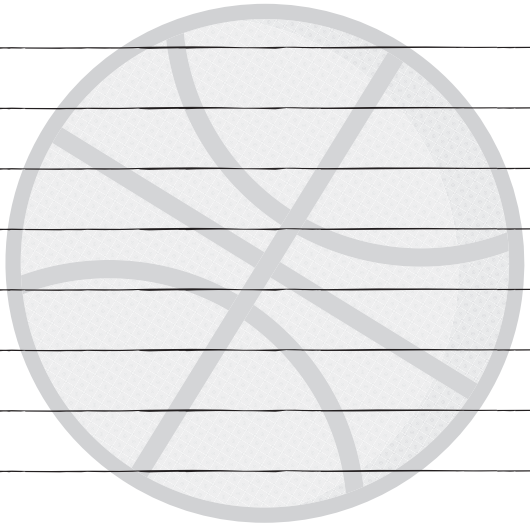
2 下諏訪町スポーツ推進審議会委員名簿

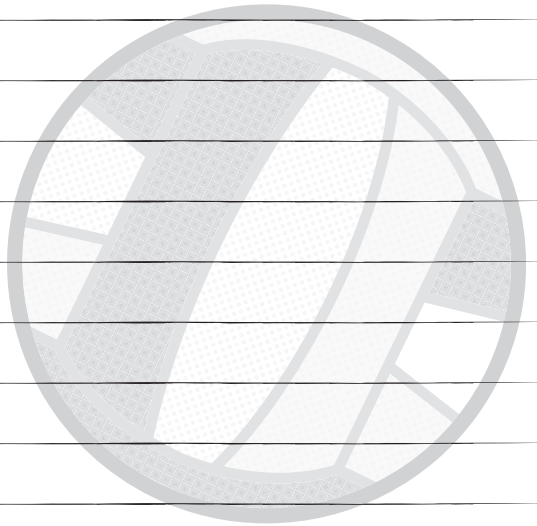
役　職	氏　名	所属等
会　長	吉　澤　正　彦	下諏訪町スポーツ推進委員会会長
副会長	北　澤　　裕	特定非営利活動法人　下諏訪町体育協会会長
委　員	佐　々　弘　雄	下諏訪町スポーツ推進委員会副会長
	石　川　智　之	バレッツ（長野県電動車椅子サッカー協会）
	今　井　慎　二	ウィンズＦＣ（Ｊｒサッカークラブ）
	宮　田　祐　輔	下諏訪南小学校教諭
	小　林　　優	下諏訪北小学校教諭
	鈴　木　政　美	下諏訪社中学校教諭
	伊　藤　直　樹	下諏訪中学校教諭
	森　　安　夫	特定非営利活動法人　下諏訪町体育協会　陸上部

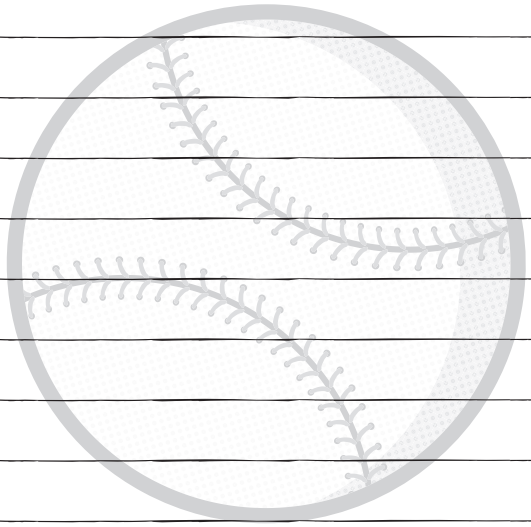
3 第2期下諏訪町スポーツ推進計画策定経過

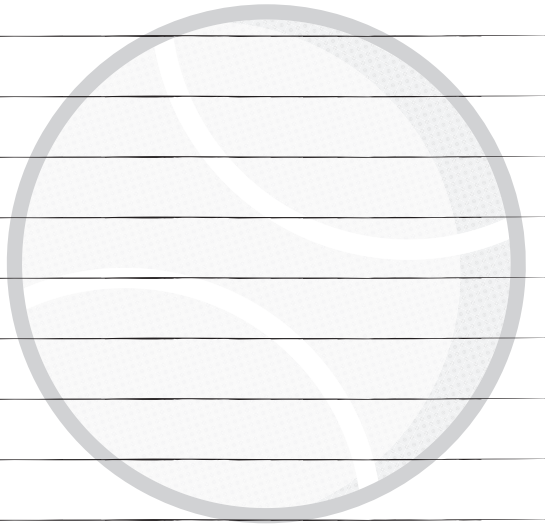
年月日	内容
平成２９年 ８月～９月	素案作成
９月～１０月	町内の１８歳以上 1,000 人を対象にアンケート実施
１０月～１１月	計画（案）作成
１２月７日	第１回スポーツ推進審議会 計画（案）の諮問
平成３０年 １月３１日	第２回スポーツ推進審議会 計画（案）の審議
２月１３日～ ３月１２日	パブリックコメント募集
３月２０日	計画（案）に対する答申

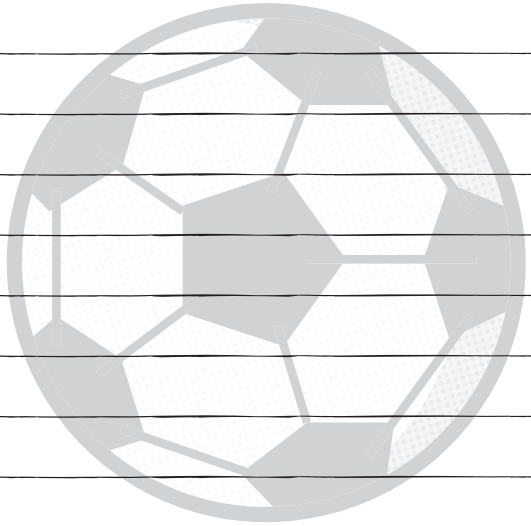
memo

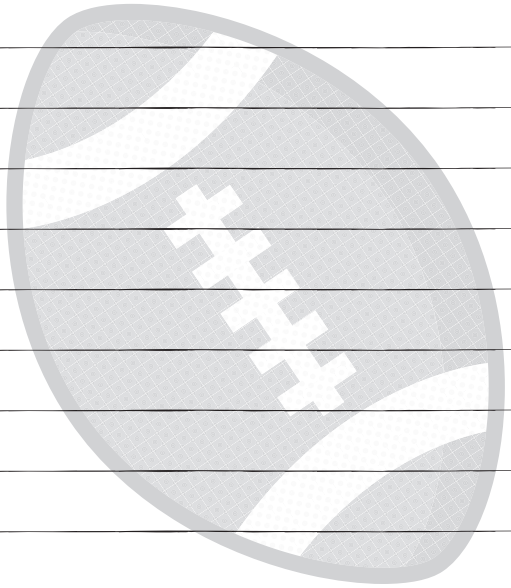














スポーツのまちしもすわ
第2期下諏訪町スポーツ推進計画
発行・編集／下諏訪町教育委員会
教育こども課　スポーツ振興係
〒393－0087　長野県諏訪郡下諏訪町 4611 番地 11
TEL　０２６６－２７－１４５５
FAX　０２６６－２７－０５１１